不動産部門からの情報提供

あれだけ暑かった真夏の日差しがようやく落ち着き、だいぶ過ごしやすくなった今日この頃、
皆様いかがお過ごしでしょうか！代表の息子の麻田秀人です！

もうあの暑さが無くなるのは良いことかもしれませんが、自分とすると何となく、夏が終わってしまうんだなぁ、という寂しさと切なさもあり、同時に昨年の夏は何したっけかなぁ…、という過去を思いおこし、そしてあれからもう１年が経ったんだなぁ…、と時の速さまでもを感じる、夏の終わりは自分にとってそんな寂寥感(せきりょうかん)のようなものまで抱かせる時期であります。
ただ、良いこともありまして、私の母親である弊社の春江社長は、とにかくパワフルで熱い方なのですが、どうやら本当に体も常に熱いようで、日ごろからそうですが、特に夏の暑い日事務所にいると「暑い暑い！！」と何度も言って暑がっております。
そうなるとどうなるかと言うと、部屋にあるエアコンを19度とかに設定してMax冷房をガンガンに利かせて、極寒の地に早変わりさせるのです。私は前にもお伝えした通り、暑いのはむしろ好きなくらいなので全然平気なのですが、逆に寒さでもう体がブルブル震えて、手もかじかみ、おしっこもしたくなり、仕事どころじゃなくなるのです。

良いこととはつまり、これが無くなるんです！あの極寒の地から解放されるのです！
やったぁ！もうあの寒さに我慢しなくてすむぞ！！僕は勝利したんだぁ～！
私、情緒がどうかしておりますがこれでも仕事は真面目にやっております。
これからも親子一同宜しくお願い致します！

今回の不動産の情報は、直近の不動産市況に関してです。

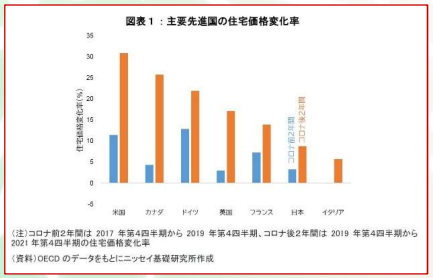
中古マンションの成約数は７カ月ぶり増加

東日本不動産流通機構は8/10、７月の首都圏不動産流通市場動向を発表しました。中古マンションの成約件数は前年同月比3.4%増の３１０４件で、７カ月ぶりに前年を上回りました。成約価格は11.1%増の４３４８万円と２ケタ上昇し、26カ月連続で前年を上回りました。成約㎡単価は12.9%増の68.5万円で27カ月連続の上昇となります。
つまりこれは何を表しているかというと、ここ最近の不動産市況の流れとして、売買の取引件数としては減っている傾向にあるが、取引価格・成約単価は上がっている、といった内容を如実に表した報告になります。
首都圏を中心として営業している、ある大手不動産仲介業者のデータとしても、7月の東京エリアの仲介取引内容として、昨年同月比で中古マンションだけが8.2%の取引件数増加、中古戸建と土地の取引件数は、7.8%・17.0%の減少でした。ただ、成約の平均価格は、中古マンション・中古戸建・土地ともに全てが10%以上の価格の上昇という結果でした。

現場の感覚としては、売り出されている物件の数そのものが少ない状態が続いており、そうなるとやはり１物件１物件の価値が高まります。その影響を受けて⇒売り出し価格も高くなる⇒それでも希少性があるので成約になる、といった傾向が続いていると感じております。この価格上昇の流れは、実は日本だけではありません。

世界的にも住宅価格の高騰は続いている

このコロナ禍は、世界の主要先進国で住宅価格の高騰をもたらしています。
図表１は、コロナ禍の前後２年間における住宅価格の変化率を示しており、いずれの国も住宅価格の上昇が加速しており、直近の上昇率は、高い順に、米国（30.8%）＞カナダ（25.7%）＞ドイツ（21.9%）＞英国（17.1%）＞フランス（13.9%）＞日本（8.7%）＞イタリア（5.7%）となっています。
こうした価格高騰の要因として、(１)金融緩和 (２)在宅勤務の拡大 (３)インフレが挙げられています。



（注）コロナ前2年間は 2017 年第4四半期から 2019 年第4四半期、コロナ後2年間は 2019 年第4四半期から 2021 年第4四半期の住宅価格変化率
（資料）OECD のデータをもとにニッセイ基礎研究所作成

中央銀行の金融引き締めやウクライナ侵攻など、住宅市場を取り巻く環境は大きく変化しています。住宅価格は過熱し過ぎている、と指摘する声もあるなか、今後の住宅市場の動向に注視する必要があると感じております。

以上が今月の不動産情報になります。不動産のことで売却をお考えの方、ご相談ごとがある方は、いつでもお気軽にご連絡、ご相談下さいませ。アドバイスだけでもさせて頂きますので！これからも宜しくお願い致します！

ASADA 通信

Vol. 97

2022年８月

今月のテーマ

Ⅰ 平和への誓い
こども代表の決意
Ⅱ 稲盛和夫に学ぶ人間学
自分の「思い」が人生をつくっている
Ⅲ 不動産部門からの情報提供

想いをのせて 感謝 ありがとう

「第104回全国高等学校野球選手権大会」

2022年8月22日決勝戦
仙台育英〈宮城〉が下関国際〈山口〉を8－1で破った。
新たなドラマが起きた。
夏の甲子園仙台育英初優勝！

“白河の関越え”に喜びの声！東北勢の優勝は春夏通じて初めてだった。深紅の大優勝旗が白河の関を越え、東北の地に初めて渡ったのである。100年越し！東北の人々の悲願達成の瞬間に抱き合って喜びあう選手。
準優勝の下関国際の選手も同じ思いで優勝を目指して奮闘したが惜しくも優勝を果たせなかった選手の目には大粒の涙が・・・・・
力の限り戦った両チームの選手に暖かい拍手が響き渡った。
甲子園という大きな目標に向かって厳しい練習を重ね、乗り越えてきた多くの選手たち。その努力と強いチームの結束力支えた多くの人たちに、どの選手も「感謝です」と言った。
ここで戦った若人は明日からの人生に大きな心の支えと強さを掴んだと思う。人生に無駄はないのです。(心から拍手)
ドラマと言えば私が住む茨城県取手市にも甲子園を沸かせたドラマがあった。名勝負を生んだ“木内マジック”!!

昭和59年(1984年)夏の甲子園大会。茨城県県立取手二高は初めて決勝に進出した。
決勝までの勝ち方は尋常ではなかった。ホームスチール(本塁に盗塁すること)はするは、盗塁はするは、野球解説者は「こんな高校生は見た事ない！なんと、今までにないノビノビ野球だ」とかなり無理した賛美を送っていた。
決勝は名門校PL学園。2年生に桑田と清原がいた。決勝9回表でPL学園に追いつかれた。延長10回表、5番中島がスリーランホームランで取手リード。その裏を守りきって初優勝した。夏の大会で桑田と清原がいたPL学園が敗れたのは3年間でこの試合だけだった。

木内マジックの一つに選手達への言葉かけがある。
決勝前夜のミーティングで「甲子園の決勝と県大会の決勝とは天と地の差がある」「甲子園に来ると毎晩トンカツとステーキだ。県大会は500円の駅弁だ」この言葉に選手は天と地の差を納得する。
「決勝の勝敗は別にして取手に帰ればパレードはある。たとえ旗は小さい準優勝旗でも格好がつく。だから明日はノビノビやれ」「いいか今夜はゆっくり寝ろ」
しかし、これはセンバツの事。木内監督は間違っていたのだ。当日、間違いに気づいた木内監督は選手に「おーい、旗は一本きゃないんだと…」選手は負けたら小さい盾だと知った。
「2本あるのは春なんだと、しゃなかんべ、今は夏なんだから」そして続けた。「おい、旗1本きゃないんじゃ、お前たちは勝つっきゃないな」選手たちはどっと笑った。
甲子園で試合前に大きな声で笑い合ったチームは見たことはない。

この話は取材に取手二高に張り付いていたNHKの解説者が後日談として話した内容である。
茨城県で初めて深紅の優勝旗を手にした取手二高！凱旋パレードは数万人が利根川土手に集まり、選手たちを迎えた。
懐かしい思い出である。

サラリーマン川柳

恋心　マスク外せば　花と散る

信頼と実績で皆様に愛されて35年！
生命保険・不動産の売却・買い取り すべてお任せください！

Qualifying & Life Member MDRT®

株式会社オフィスASADA
代表取締役 麻田 春江

住所：〒302-0015 茨城県取手市井野台1-7-28 E-mail：officeasada220@gmail.com
TEL：0297-72-2401 FAX:0297-72-6217 URL：https://officeasada.com

Ⅰ　平和への誓い
こども代表の決意

広島は8月6日、被爆から77回目の「原爆の日」を迎えた。平和祈念式典が開かれ、被爆者や遺族、岸田首相らが参列した。核保有国であるロシアがウクライナ侵攻を続けるなか、松井一実市長は平和宣言で「一刻も早く全ての核のボタンを無用なものにしなくてはならない」と核兵器の廃絶を訴えた。
岸田首相、グレテス国連事務総長も核兵器を一切持たないことが核の脅威に対する唯一の解決策だと強調した。

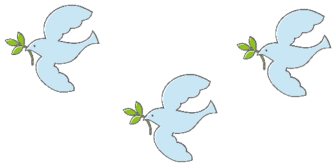
平和問題はは大人だけでの問題ではなく、未来を担う子供たちの中にも
平和への強い願いをもって行動している子ども達もいますので紹介します。

平和式典で発表する「平和への誓い」の内容は小学生が考えました。参加したのは広島市内の小学6年生、20人です。20人は「平和の大切さ」をテーマにした作文に応募した1万1012人の中から選ばれたのです。

経緯

被爆50周年(平成7年)の平和記念式典では、広島市長の平和宣言に続いて、初めてこども代表が「平和への誓い」を述べました。これは、「こども平和のつどい」で世界のこどもたちが話し合った結果を平和への決意として述べたもので、翌年以降もこの成果を引き継ぐ「こどもピースサミット」を開催し、「平和への誓い」を発信しています。
※「こども平和のつどい」は、被爆50周年の記念事業として、未来を担うこどもたちが平和への努力を行うために、平成7年7月31日から8月6日まで広島市で開催されたものです。当時、世界の12の国・地域の15都市から194人の小学校5・6年生が参加しました。

平和への誓い



あなたにとって、大切な人は誰ですか。
家族、友だち、先生。
私たちには、大切な人がたくさんいます。
大切な人と一緒に過ごす。笑い合う。
そんな当たり前の日常はとても幸せです。
昭和20年（1945年）8月6日　午前8時15分。
道に転がる死体。
死体で埋め尽くされた川。
「水をくれ。」「水をください。」という声。
大切な人を一瞬で亡くし、当たり前の日常や未来が突然奪われました。
あれから77年経ちました。
今この瞬間も、日常を奪われている人たちが世界にはいます。
戦争は、昔のことではないのです。
自分が優位に立ち、自分の考えを押し通すこと、それは、強さとは言えません。

本当の強さとは、違いを認め、相手を受け入れること、思いやりの心をもち、相手を理解しようとすることです。
本当の強さをもてば、戦争は起こらないはずです。
過去に起こったことを変えることはできません。
しかし、未来は創ることはできます。
悲しみを受け止め、立ち上がった被爆者は、私たちのために、平和な広島を創ってくれました。
今度は私たちの番です。
被爆者の声を聞き、思いを想像すること。
その思いをたくさんの人に伝えること。
そして、自分も周りの人も大切にし、互いに助け合うこと。
世界中の人の目に、平和な景色が映し出される未来を創るため、私たちは、行動していくことを誓います。

令和4年（2022年）8月6日
こども代表　広島市立幟町小学校　　6年　バルバラ・アレックス
　　広島市立中島小学校　　6年　山﨑　鈴

Ⅱ　稲盛和夫に学ぶ人間学
思いは必ず実現する

自分の「思い」が人生をつくっている

人間の「思い」とは何か？稲盛氏は語る

90年にわたる人生を通じて、心にどのような「思い」を抱くかで人生そのものが決まっていくのだ、ということを幾度も経験した。そのことは「人生の真理」であると確信している。

稲盛和夫氏のプロフィール

京セラ名誉会長
1932年鹿児島市生まれ。鹿児島大工学部卒。59年に京都セラミック（現・京セラ）、84年に第二電電（現・KDDI）を創業。2010年には経営破綻した日本航空の会長になり再建を果たした。稲盛財団、国際賞「京都賞」を創設し、若手経営者が集まる経営塾「盛和塾」を主宰するなど、経営者育成に力を注いだ。

私達は物事を論理的に考えたり頭で推理(～だろうと仮定すること)推論(与えられた情報から真実を見つけ出す作業のこと)したりすることが大切であり**「思う」**ということは誰でもできることなので、たいしたことではないと捉えています。
しかし、この**「思う」**ということは推理や推論より遥かに大事なものなのです。私達が生きていく上でこの**「思う」**ということほど大きな力を持つものはないと私は信じています。
しかし、そのことを多くの人は気がついていません。人間のすべての行動の源、基本になっているのです。私達の日常生活の中で抱く**「思い」**の集積が、人間性、人柄、人格をつくり出しているのです。

私たちの心には**「自分だけがよければいい」と考える利己の心**と、「自分を犠牲にしても他人を助けよう」とする利他の心があります。
利己の心で判断すると、自分のことしか考えていないので、誰の協力も得られません。自分中心ですから視野も狭くなり、間違った判断をしてしまいます。
一方、利他の心で判断すると「人によかれ」という心ですから、まわりの人みんなが協力してくれます。また視野も広くなるので、正しい判断ができるのです。
より良い仕事をしていくためには、自分だけのことを考えて判断するのではなく、まわりの人のことを考え、思いやりに満ちた「利他の心」に立って判断をすべきです。

思いやりに溢れた美しい利他の心が自分の心の大部分を占めるように、心の庭を手入れしなければなりません。「自分だけよければいい」という、えげつない「思い」をずっと巡らせている人は、その「思い」とおなじ、えげつない人間性、人柄、人格になってきます。逆に、思いやりに満ちた優しい「思い」を抱いている人は、知らず知らずのうちに、思いやりに溢れた人間性、人柄、人格になっていきます。
「思い」というのは、非常に大きな影響を私達に及ぼしているわけです。

さらに、「思い」はもう一つ、大きな役割を持っています。「思い」の集積が、その人に合ったような境遇をつくっていく、ということです。その人の運命をつくっていると言っても過言ではありません。
特に何か新しいこと、困難なことに取り組むときほど、少しでも「これは難しいな」と思ったら、絶対にことは成熟しません。「どうしてもこれは実現しなければならない」と強烈な「思い」だけをいだき続ける必要があるのです。
例えば、よく物知り顔の大人が使う、「そう思うけれども、実際には難しい」というような、否定的後退的なニュアンスを含む言葉などは絶対に口に出してはなりません。そのような疑念がもたげてきたなら、すぐに払拭するように努めることが大切です。

自分の可能性をただひたすらに信じて、単純にその実現を強く思い続けるだけでいいのです。何も心配することはありません。人間の「思い」というのは、我々の想像を超えて、凄まじいパワーを秘めたものなのです。まずは一切の疑念を持たず、「何としてもそれを実現したい」という強烈な「思い」を抱くことが何よりも大切です。そうすることで、実際に「思い」は必ず実現していくのです。